

# かみきたの

上北野町内会広報  
平成25年4月30日発行  
第15号  
発行人 秋川 浩  
編集人 高島 均

## 平成25年度定期総会終了

### 困ったとき気軽に助け合える街に

4月7日すこやか会館において、平成25年度の町内会定期総会を開催。たくさんの会員に出席いただきました。また、来賓の緑愛園岸本施設長、上北野みどり会立野会長からごあいさつをいただきました。

平成24年度の事業・決算報告では、各部の事業についてはほぼ例年通りですが、ゴミステーション利用の早朝啓発・指導に取り組み、市からも評価をいただいたことを報告。財政的には依然厳しく、各部



たくさんの会員が議論に参加

とも節約に取り組んだ経過を報告し、全体の拍手で承認を受けました。

## 北野地区町内会連合会 定期総会

### 北野連合会館 建て替えへ

4月21日北野連合会館にて第31回北野地区町内会連合会定期総会が開催されました。当町内会からは秋川会長が理事として出席したほか、4人の代議員が参加して来ました。

平成24年度は町連の創立30周年という節目の年。記念式典の開催や記念誌を発行したことが報告されました。

事業計画・予算では、一般会計の繰越金(剰余金)が3万円程度になるという厳しい財政事情を背景に、3年の計画で行事等の見直しとスリム化を図っていくとの提案がありました。平成25年度においては、予算的には前年度並みの事業項目を確保するものの、各行事内容を執行段階で適宜

見直していくとのこと。質疑では、一時期あった「福祉厚生部」廃止議論について、確かに事業は縮小しているものの部門の廃止は尚早として当面維持していくこと、厳しい財政事情ではあるが執行部としては町連会費の値上げは考えていないこと、などが採り上げられました。

また、築30年で老朽化が進んでいる北野連合会館について、昨年8月札幌市に建て替える要望した結果、その方向

## 緊急時情報カードを配布しました

平成24年度の事業計画としていました「防災キッド」を、「緊急時情報カード」として

3月、各世帯に配布しました。このカードは、世帯の家族構成や緊急連絡先、また血液型や持病・服薬状況などを書いておくことで、地震など大規模な災害があったとき、救助に来た人に必要な情報が確実に伝わるようにしようというものです。

当町内会では、カードをプラスチック袋に入れ、冷蔵庫に貼っておくことにしました。袋には磁石をつけてあります。こうすることで、誰が救助に来ておらずに見つけられるようになりやすくなります。合わせて小さなシールも配りました。これは、カードの有無を知らせるもので、所定の場所に貼ることとしました。

組みを実施していることは、清田消防署や厚別警察署にも説明しており、いざというときに活用してもらおうとしています。



平成25年度の事業方針で秋川会長は「困ったときに気軽に助け合える街をめざしたい。防災に関わっては3月に『緊急時情報カード』配布の取り組みを行ったが、カードだけで解決するものではない。地域の助け合いを高めていきたい」と提案しました。

平成25年度も引き続き緊縮予算に。一般収支では、役員活動費の単価を3年間減額するほか、前年度決算をベースに各部とも節約に努めるとしました。

特に、除雪パートナードの特別会計では、燃料費の高騰などによって年々、地域

の負担金が上昇してきている背景を説明。各世帯からいただく分担金について、単価は据え置くものの、一人暮らし世帯の1000円については戸建・集合住宅の別など、もう少し細かく見て適用していきたいと提案しました。

町内会では、カードをプラスチック袋に入れ、冷蔵庫に貼っておくことにしました。袋には磁石をつけてあります。こうすることで、誰が救助に来ておらずに見つけられるようになりやすくなります。合わせて小さなシールも配りました。これは、カードの有無を知らせるもので、所定の場所に貼ることとしました。

町連の活動などで討論  
質疑・討論では、町内会連合会には少なからぬ納付金を納めているものの活動の中心があまり見えてこないことから、町連に対する意見反映と情報提供をお願いするとの意見

役員選出では、退任する田中郁夫副会長の後任に清水重雄保健衛生部長を、数年来兼務となっていた総務部長に5班の金瀬憲明さんを、女性部長に21班の五福和子さんをそれぞれ推挙、全体の拍手で承認されました。その他の役員は留任となりました。

町内会活動日誌  
1月5日北野地区新年交礼会(町連)  
1月7日清田区新年交礼会(町連)  
1月19日役員会  
2月13日19日除雪パートナード実施  
2月16日合同役員会  
3月6日北野地区防災研究会(町連)  
3月16日役員会  
3月30日会計監査  
4月7日定期総会  
4月15日春の交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発【10人参加】  
4月20日合同役員会  
4月21日町連定期総会

# かみきたの

上北野町内会広報  
平成25年8月31日発行  
第16号  
発行人 秋川 浩  
編集人 高島 均

## 市民防災センターなど見学

### 災害体験コーナー、怖さ実感

5回目となる、防犯防災部、保健衛生部合同の見学会。今年17人の参加を得て7月9日、「中沼資源選別センター」と「市民防災センター」を中心に訪ねてきました。

#### ■中沼資源選別センター

中沼資源選別センターは、混合収集されてくるびん、缶、ペットボトルを再資源化するための選別施設。ガラス越し

に作業風景を見学しましたが、流れるコンベア上では手作業による選別も。「ペットボトルのラベルやふたをはずさずに出すと、こんなに手間がかかるのだ」ということを学ぶことができました。

札幌市には「中沼のほか、駒岡清掃工場の近くにももう一カ所あるとのこと。市民防災センター

これまでも何度か訪れている市民防災センター。今年3月に体験コーナーがリニューアルしたと聞き、見学施設に入れました。

災害バーチャル体験コーナーでは、津波や土砂災害などの映像を迫力満点の3Dで見ることが出来ます。また、暴風体験コーナーでは3D映像に加え実際に風速30級の風も体



参加者からは、「迫力がすごい分、実体験を思うところとす。あらためて災害の怖さがわかった」との感想をいただきました。

これら2施設のほか、みそしょうゆ製造で有名な「トモ工福山醸造所」も見学し、また中央卸売市場外での昼食も満喫しました。参加者が少ないのが残念、次回はいくさんの参加を期待します。

## 写真特集 上北野・緑愛合同夏まつり



8月10日北野ふれあい公園にて恒例の「上北野・緑愛合同夏まつり」を開催。ダイナミックな鼓楽会豊太鼓、みどりの会の華麗な舞踊、大縄跳びなどのアトラクションで会場は大盛況。ゆできび、カキ氷、焼き鳥、ヨーヨーすくいなどの露店にも行列ができるほどでした。各級議員、町連、北野平小などから来賓にも多数列席いただきました。

## 4町合同盆踊りの今後

上北野・南北野・北野中央・新和の4町内会が合同で行う「納涼盆踊り大会」。今年もホームマック北野通店のご協力を得て、8月14日・15日の両日開催されました。

「ビアガーデンも合わせてオーブンし、毎年たくさんの方々が集まる行事として定着してきましたが、今年の開催をもって一区切りとなります。開催には4町からそれぞれ実行委員を選出し実行委員会を組織して運営に当たりますが、この実行委員も年々高齢化し後継者が現れないことが悩みの種でした。こうしたことから、実行委員会はいったん解散を決意。今後の盆踊り大会の開

催やそのあり方については、あらためて4町内会で検討していくこととなりました。さっそく4町での話し合いが始まっています。基本的な考え方は「できる限り継続させたい」「子どもたちが楽しめる行事として残したい」と前向きに考えていくこととしていますが、開催日数や規模、予算やスタッフの確保など課題も多いため、引き続き検討を重ね一定の方向性を出して、それぞれの町内会に諮っていきますこととなります。

詳細については、あらためて皆さんにお知らせしていきますので、ご理解をお願いします。

## 町内会活動日誌

- ▼5月12日春の町内清掃(100人参加)
- ▼5月18日役員会
- ▼5月25日古田川河畔清掃活動(町連)(70人参加)
- ▼6月3日町内防犯パトロール開始
- ▼6月4日特別資源回収
- ▼6月15日合同役員会
- ▼6月29日春のパークゴルフ大会(32人参加)
- ▼7月9日防犯防災部見学会(札幌市市民防災センターほか・17人参加)
- ▼7月11日夏の交通安全運動街頭啓発
- ▼7月20日役員会
- ▼7月26日8月9日夏休みラジオ体操
- ▼7月27日北野地区ふれあい夏まつり(町連)
- ▼8月3日清田区ふれあい夏まつり(区)
- ▼8月9日子ども花火大会は雨天により中止
- ▼8月10日上北野・緑愛合同夏まつり
- ▼8月14・15日四町合同盆踊り大会
- ▼8月17日合同役員会

## 今後の予定

- ▼9月12日厚別神社子ども神輿
- ▼9月24日女性部日帰りツアー

## 編集後記

※本号を編集をしていると、本州では連日猛暑日が続く、北海道では雷鳴が響き集中豪雨に見舞われる不安定な天候。以前と比べ、気候が確実に変化してきていると感じます。地球温暖化による海水温上昇なのか、ヒートアイランド現象による熱のもりなのか。いずれにしても対処が大変です。(K)



上北野町内会広報  
平成26年2月28日発行  
第17号  
発行人 秋川 浩  
編集人 高島 均

# 北海道医療生協・緑愛病院の今後

緑愛園と並んで、当町内会とは切っても切れない存在の北海道医療生協・緑愛病院。建物の狭あい化などから、やむなく移転を計画しているとのこと。移転後の地域とのかかわりも含め、菅田敏文専務理事に病院の今後についてお話を聞きました。多くの会員の関心を呼ぶことと考へ、今回特集してお知らせすることにしました。

まず、医療生協の成り立ちやこれまでの歴史について教えて下さい。

北海道医療生協は、昭和40年に組合員320人で設立され、翌年には中央区北4条西4丁目診療所を開設したものの、昭和49年に診療所は廃止され、以降昭和56年まで事業を休止していました。

昭和56年2月、当時社会問題化していた「はくろう病」(振動病)の専門病院を設立しようと、林業労働者の労働組合を中心に生協の再建総会

が開かれ、7月には現在の健診センターの場所にプレハブ造りの「緑愛診療所」を開設、昭和57年10月1日に現在の「札幌緑愛病院」を新築・開院しました。

開院当初は、「はくろう病」(振動病)の診療を中心としたものでしたが、平成元年には夜間診療を開始し、地域に開かれた病院づくりに着手。近年では健康管理センターや療養病棟の増築をはじめ、職業病センター、肝臓センター、心臓リハビリセンター、緑愛

平成26年度  
上北野町内会定期  
総会のお知らせ

◆とき  
平成26年4月6日(日)  
午前11時から

◆ところ  
すこやか会館

◆主な議題  
25年度活動報告・決算  
26年度活動方針・予算

※出欠や委任状の取り扱いなど詳しくは回覧をご覧ください。

の協力・協同は欠かすことができません。上北野町内会の皆さんとの交流や意見交換をしていく中で、夜間診療をはじめとする地元の皆さんの要望を徐々に実現できるように、平成2年12月には、上北野町内会の301世帯の皆さんが中心となって医療生協上北野支部(現北野支部)

## 移転後も上北野とのかかわりを重視

おげんき会などはすっかり地域に定着していると感じます。しかしながら病院の移転が計画されているとも聞きます。その理由などをお聞かせください。

緑愛病院は、おかげさまで昨年10月開院30周年を迎えました。この間、診療科の増なども相まって建物はとても手狭になってきました。また、年数経過による不具合も多々発生するようになったことから、数年前に建物診断を行ったところ、耐震補強や内装・外装・水回りなどの大規模修繕が必要で、莫大な経費がかかることがわかりました。

そのため、いったんは現在地での建て替えを検討したものの、面積的に窮屈であり、工事期間中は外来・入院を含めて休診しなければならぬなど、患者さんにも大きな影響が避けられないと見込まれました。こうしたことから、近隣に適地が見つければ移転

が結成されました。その後、平成3年厚別支部、平成5年白石支部、平成6年豊平支部、平成10年清田支部が発足。各地域支部の自主的な取り組みが進められるとともに、地域のボランティアの皆さんの協力で、パークゴルフ愛好会をはじめとした各種のサークルや「くらしの助け

新築してはどうかと考えるに至りました。そうした中、3年前前に平岡5条1丁目病院建築に十分な広さの空地を見つけました。ここは丸紅が開発したマンション建設予定地でしたが、現病院からもそれほど離れていないこともあり、ここを新しい病院の建設予定地と定めることにしました。すでに市都市計画の地区計画変更を前提とした売買契約を結び、現在、付近の住民説明会など手続を進めているところです。

「地元病院」であり、夏祭りを共同開催するなど、当町内会に欠かせない病院が移転しなければならぬのはとても残念です。移転した後の地域とのかかわりについてはどのようにお考えですか。新病院への移転時期はまだ確定しておりませんが、移転するまでの間は、診療も地域活動もこれまで同様に継続していきます。

- トホール大会(準優勝)
- 9月12日厚別神社こども神輿渡御
  - 9月中旬敬老祝品贈呈(贈呈対象259人)
  - 9月21日役員会
  - 9月24日女性部見学会(17人参加)
  - 9月29日秋の町内清掃(80人参加)
  - 10月13日秋のパークゴルフ大会(32人参加)
  - 10月17日緑愛園で認知症など学習会(15人参加)
  - 10月19日合同役員会
  - 10月29日臨時役員会
  - 11月一円玉募金活動(募金額1万8837円)
  - 11月22日町内会防火・防災予防講習会(19人参加)
  - 11月22日役員会
  - 12月1日福祉除雪開始(対象12世帯)
  - 12月8日緑愛園合同餅つき大会(100人参加)
  - 12月21日合同役員会
  - 1月18日役員会
  - 2月1日〜4日除雪パートナーシップ実施
  - 2月8日臨時役員会
  - 2月15日合同役員会

移転後の跡地については、駐車場を含めて売り払いを予定していますが、通院中の患者さんや地元町内会の皆さんの利便性を考えて、新たに「緑愛北野クリニック」(仮称)を現在地に開設し、外来診療とあわせて訪問診療などの在宅診療にも取り組んでいきたいと考えています。

比較的新しい健診棟を改修して利用するか、新しい建物にするか、すこやか会館をどうするかを含め、具体的には今後検討していくこととなります。これまで北野の地域に根差してきた経過や、「医療を通じて地域社会に貢献する」という医療生協の目的に沿って、地域支部や町内会の皆さんと相談しながら進めていきたいと考えています。

ありがとうございます。

町内会活動日誌

9月8日北野地区男女混合ソフ

編集後記

今後の予定

※今回は緑愛病院の移転計画についてはの特集号となりました。30年続いた病院がなくなるとは残念と同時に不安でもあります。町内会としても移転後の課題などはたらきかけを行っていきます。(K)